

事業名称	
事業名	道路改築事業
整理番号	22-1
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設及び街路の整備
市町村名	長野市
箇所名	長野市 西組バイパス(長野市戸隠上祖山5496-1 他)
事業年度	平成22年度～29年度
事業概要	
目的	道路整備により、地域間連携の強化及び産業・観光振興を促進し、地域の活性化を図る。
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 延長L=2.1km 道路幅員W=9.75m 車道幅員W=6.0m
関連する事業計画	特になし
その他特記事項	特になし
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	長野市自然環境保全条例
土地利用規制の状況	河川法の河川区域または河川保全区域 地すべり等防止法の地すべり防止区域
その他	長野市景観計画区域内
環境要素	環境配慮の方針
大気環境	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。 交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。
水環境	土地の履歴調査により汚染物質の有無を把握する。また、鉱脈、鉱山跡地等で重金属等が偏在する場所の造成を出来るだけ避ける。 沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。 工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 山間部においては流域界の変更や沢の埋立を避ける。 掘削や地下構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。 沢の埋立を避けることができない場合は代替流路等を設置する。
地形・地質	地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。 地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変を出来るだけ避ける。 地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。 法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。
野生動植物	自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。 動物の移動経路の分断を出来るだけ避ける又は新たな移動経路を確保する。 回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。 回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。 進入防止柵を設置し動物の侵入を防止する。 重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。 動物の移動等に関する情報が得られた場合は、現地の状況を確認するほか必要に応じ環境保全研究所等の意見を聞き、保全対策等を検討する。
景観	主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。 工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。
文化財等	文化財等地域で親しまれている歴史的な建築物・構造物などやその周辺へ影響を及ぼすおそれがある立地を出来るだけ避ける。
廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 信州リサイクル認定製品の利用を推進する。
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。 LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	・資材(緑化材料等)の使用にあたっては、外来種の使用を極力控え、環境に配慮した製品の使用に努めること。	・法面の表層崩壊や浸食防止を早期に図る目的を満たす中で、外来種の使用を極力控えるなど、現地の環境に配慮した緑化工法の選定や製品の使用に努める。